

# 目次

第4章 時刻記録用のフォームを作成する	4
●ユーザーフォームのレイアウトを作成する	4
●ユーザーフォーム名を修正する	9
●ラベル名を変更する	12
●ラベルの横幅をまとめて広くする	15
●コンボボックスを配置する	18
●オプションボタンを配置する	25
●コマンドボタンを配置する	32
第5章 プログラムコードを作成する	40
●モジュールレベルの変数を宣言する	40
●ID に対応する氏名を表示させるコードを作成	46
●対象の行を取得して変数 <code>nandemobox</code> にセットする	55
●退勤時刻が入力済みならメッセージを表示させ、未入力であれば 記録可能にする	61
●入力済み時刻に応じてオプションを有効化する	72
●時刻を入力するコードを入力する	104
●キャンセルボタンにコードを入力する	114
第6章 記録シート作成	116
●新しいシートを作成し、一番左へ移動させる	116
●今日の日付と現在の時刻を表示させるひな型を作成する	119
●日付を表示する関数を設定する	123
●時刻を表示する関数を設定する	128
●時刻を記録するユーザーフォームを表示させるボタンを作成する	135
●ファイルを保存する	153

## 第5章 プログラムコードを作成する

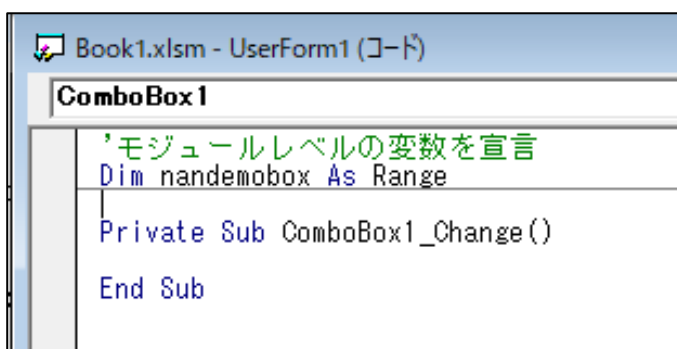
### ●モジュールレベルの変数を宣言する

コンボボックスにコードを入力していきます。

まずは、変数を宣言します。変数は「nandemobox（なんでも箱という意味です）」とします。下図は操作後の画面です。

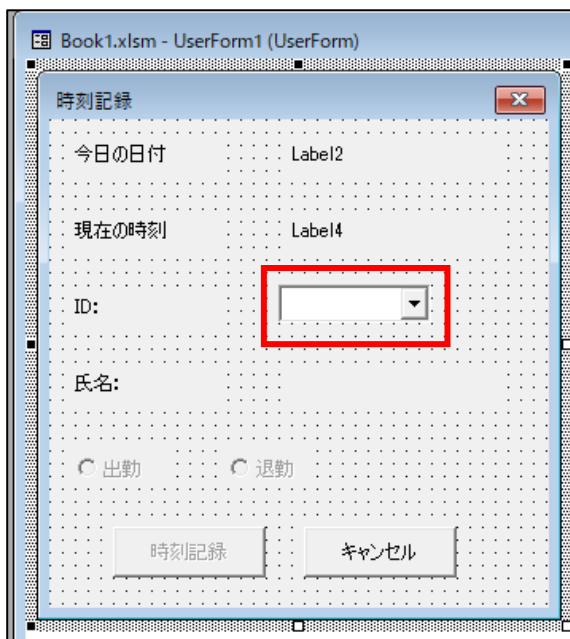
できた方は46ページへ進んでください。

わからない方は一緒に操作していきましょう。



```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
ComboBox1
'モジュールレベルの変数を宣言
Dim nandemobox As Range
Private Sub ComboBox1_Change()
End Sub
```

一緒に操作しましょう



時刻記録

今日の日付 Label2

現在の時刻 Label4

ID:

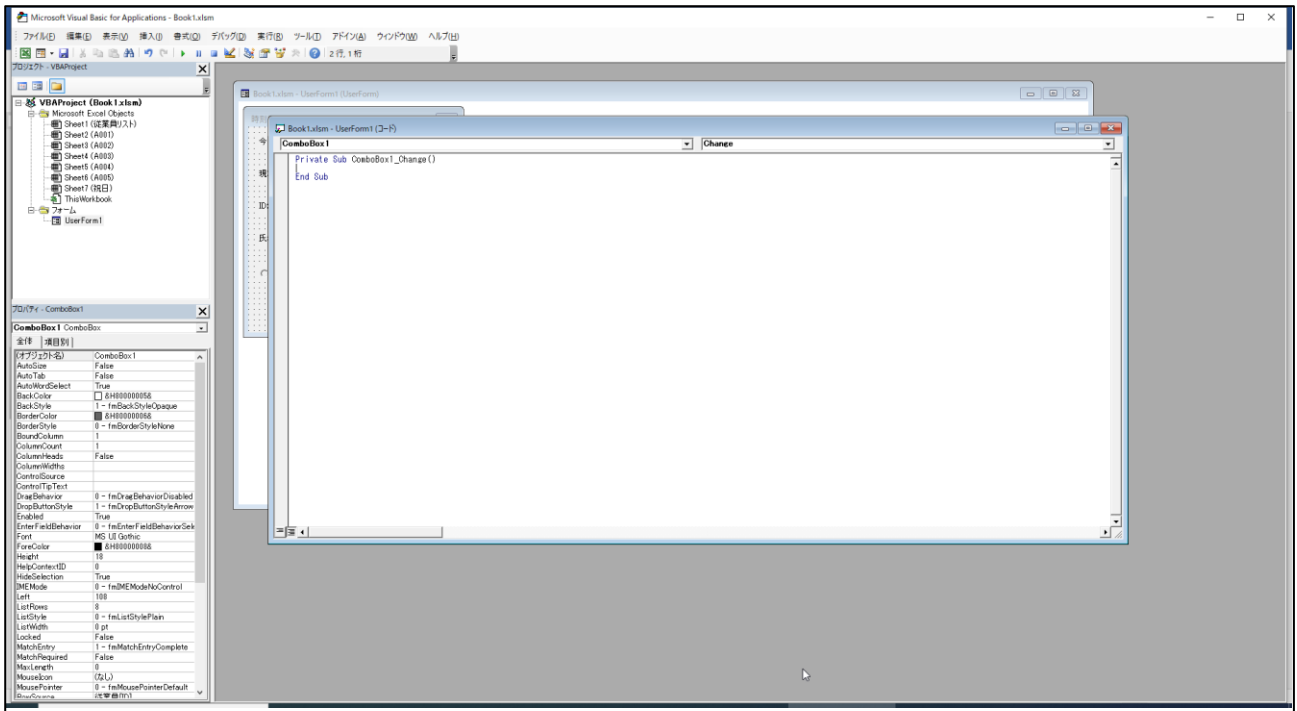
氏名:

出勤  退勤

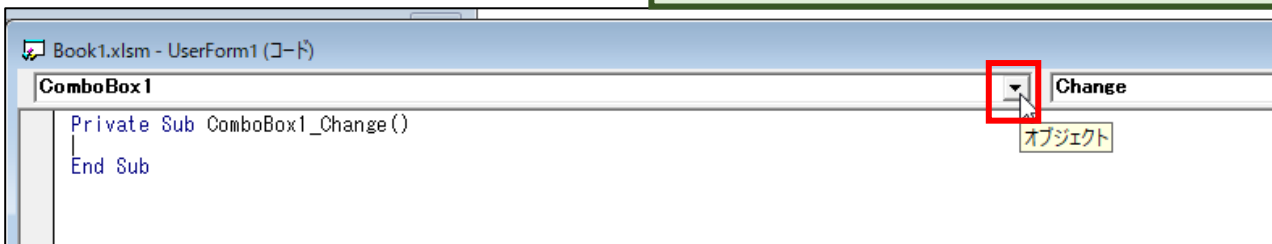
時刻記録 キャンセル

コンボボックスをダブルクリックします。

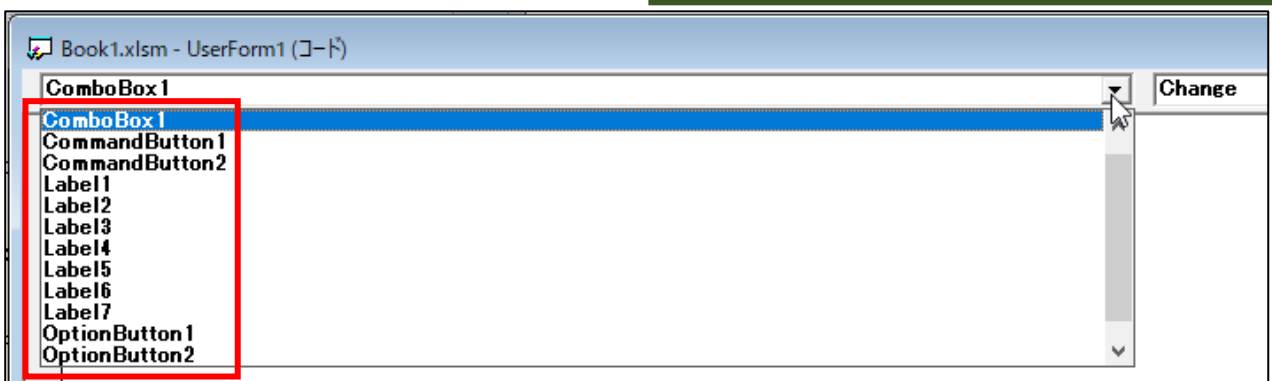
下图の画面になります。



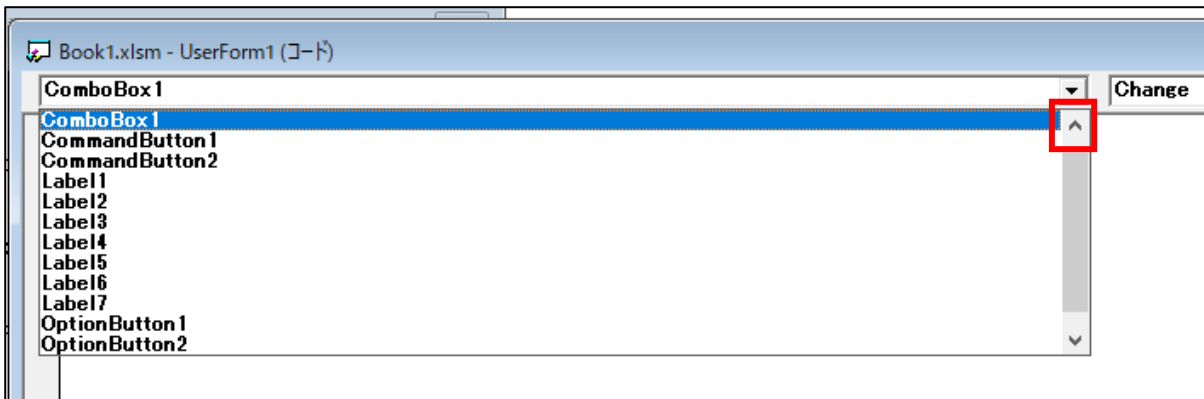
下图の「▼」ボタンをクリックします。



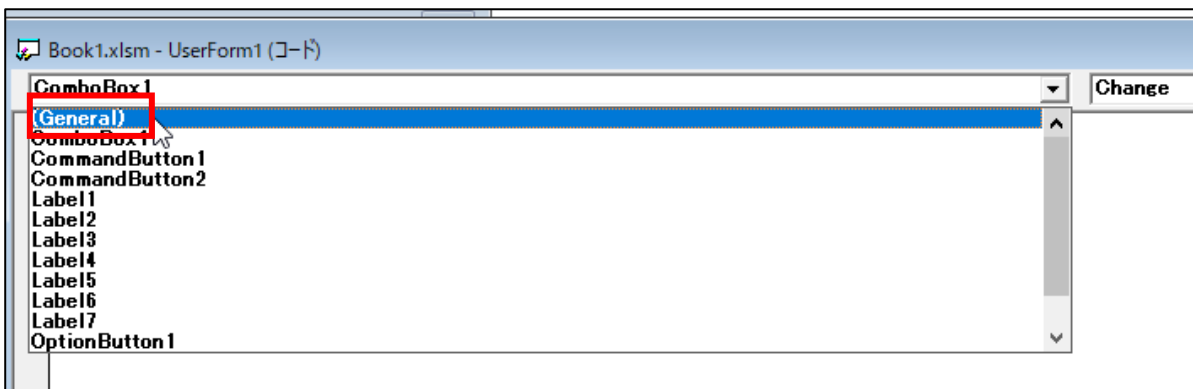
フォームに作成したものがリストとして表示されます。



上向き矢印をクリックします。



「(General)」をクリックしま

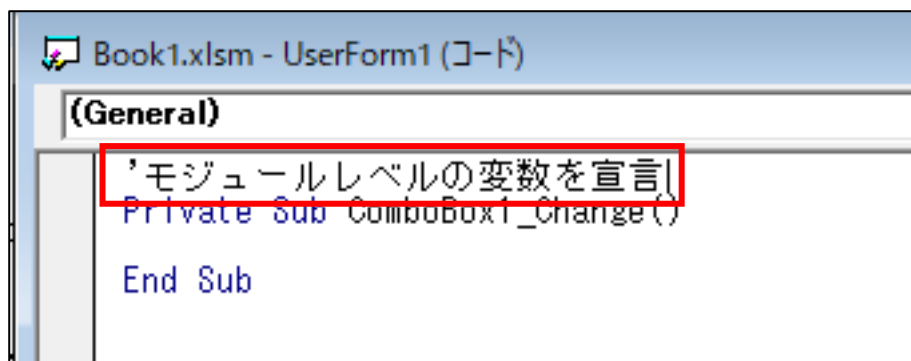


下図のように1行目でカーソルが点滅します。



' モジュールレベルの変数を宣言 と入力します。「' (シングルクォーテーション)」は半角で入力します。

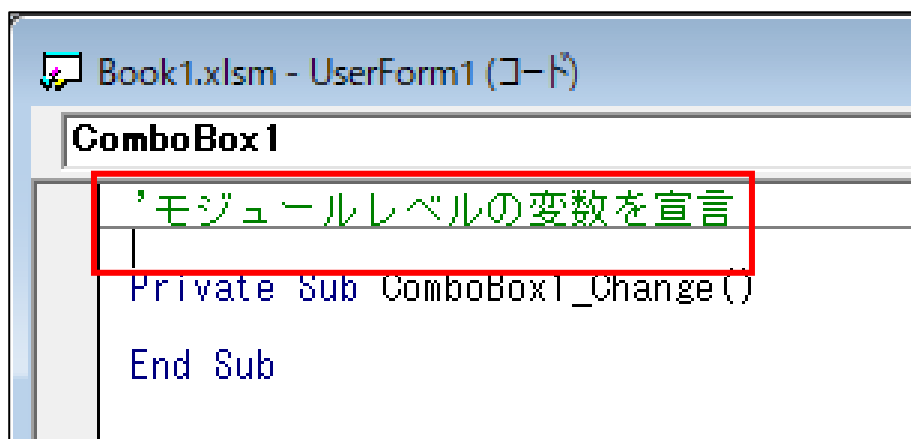
行の先頭に「' (シングルクォーテーション)」を入れることで何のコードなのかを説明する文章を入れることができます。



```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
(General)
' モジュールレベルの変数を宣言
Private Sub ComboBox1_Change()

End Sub
```

Enter キーを押すと、下図のようになります。

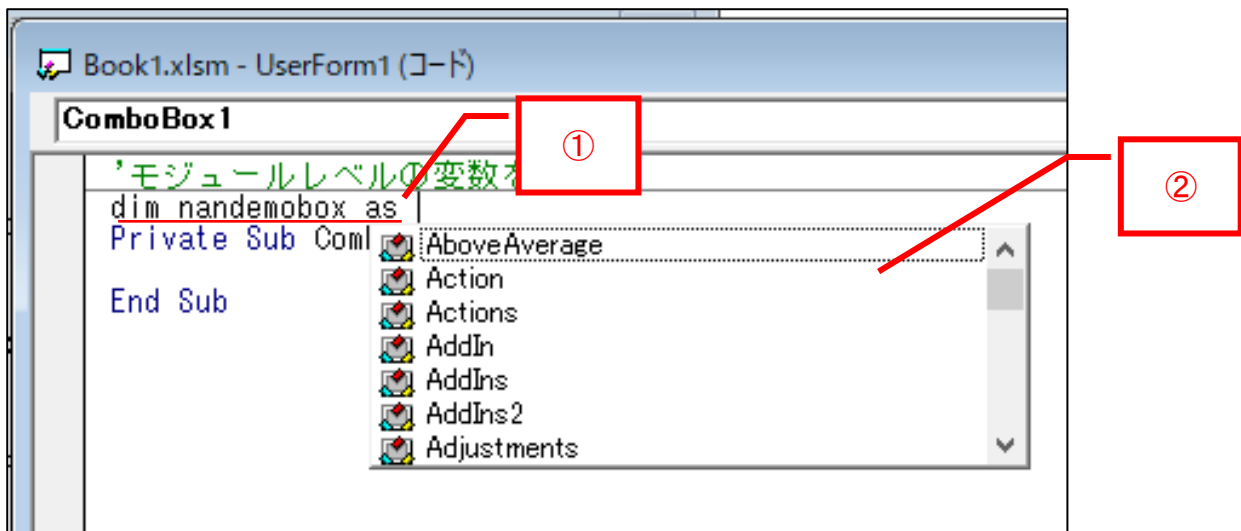


```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
ComboBox1
' モジュールレベルの変数を宣言
Private Sub ComboBox1_Change()

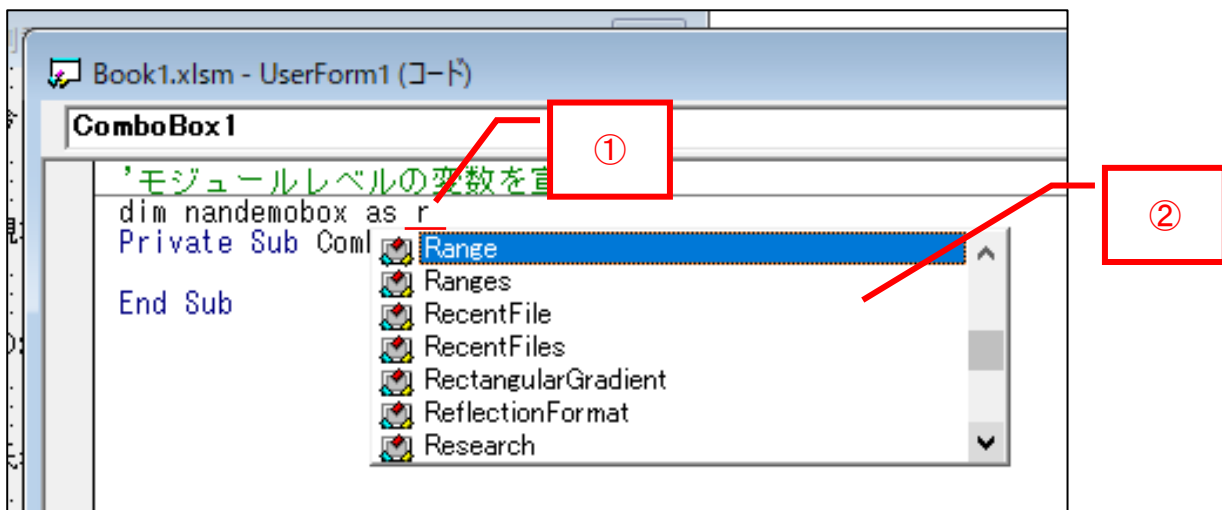
End Sub
```

① `dim nandemobox as` と入力します。 (空白) は空白を入れるという意味です。

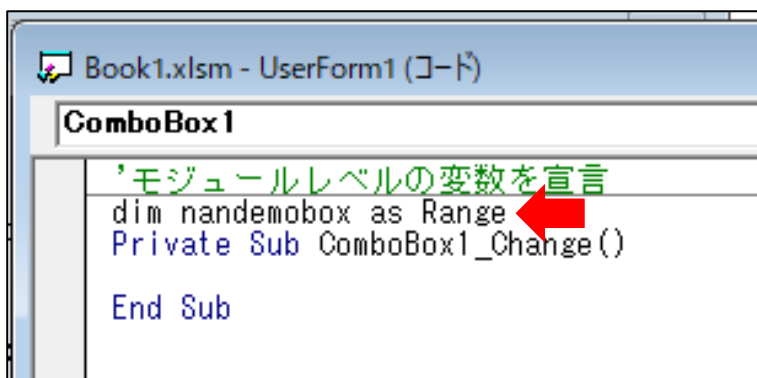
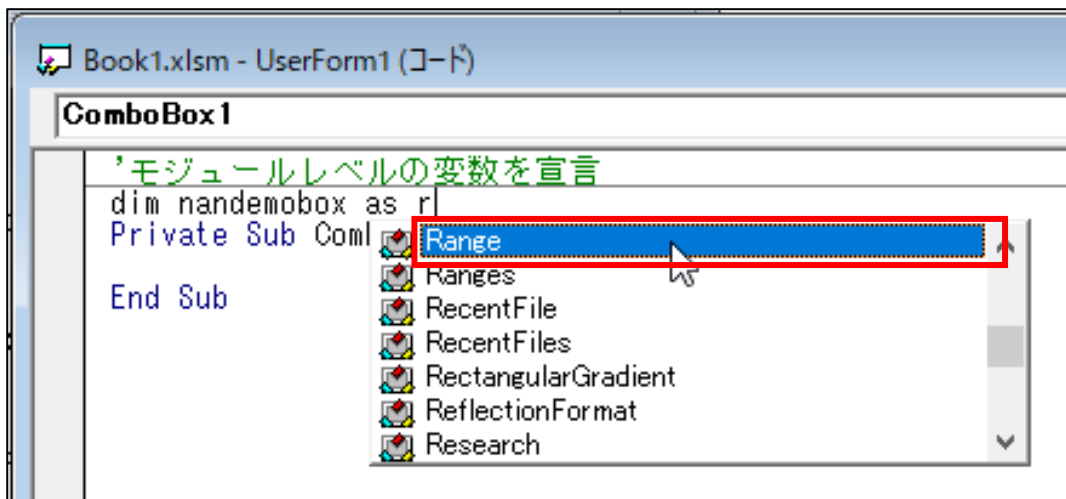
ちなみに「nandemobox」は「なんでも箱」の意味で、作成する人が自由に名付けることができます。すると②下図のようにリストが表示されます。



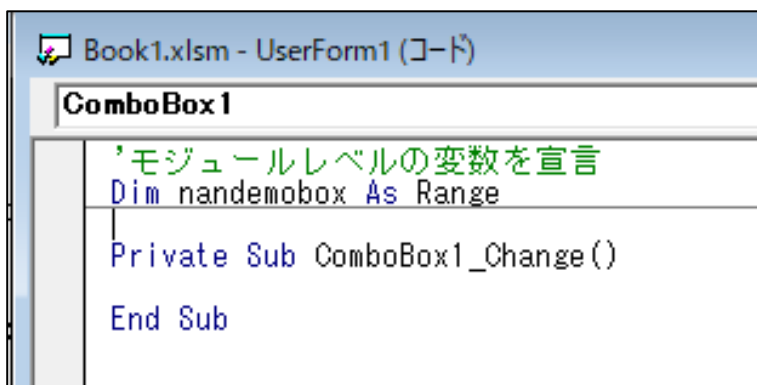
続いて① `r` とだけ入力すると、②下図のようにリストが表示されます。



「range」をダブルクリックします。



左図のようになります。



Enter キーを押すと、左図のようになります。

## ● ID に対応する氏名を表示させるコードを作成

「Label7」のところに氏名を表示させるコードを作成します。

下図は操作後の画面です。

できた方は 55 ページへ進んでください。

わからない方は一緒に操作していきましょう。

```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
ComboBox1
'モジュールレベルの変数を宣言
Dim nandemobox As Range

Private Sub ComboBox1_Change()

'IDに対応する氏名を表示
Label7.Caption = Range("従業員[氏名]"). _
    Rows(ComboBox1.ListIndex + 1).Value

End Sub
```

一緒に操作しましょう

下図の矢印の示す所でクリックします。

```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
ComboBox1
'モジュールレベルの変数を宣言
Dim nandemobox As Range

Private Sub ComboBox1_Change()
|
End Sub
```



コードを読みやすくするため、Enter キーを押して改行します。

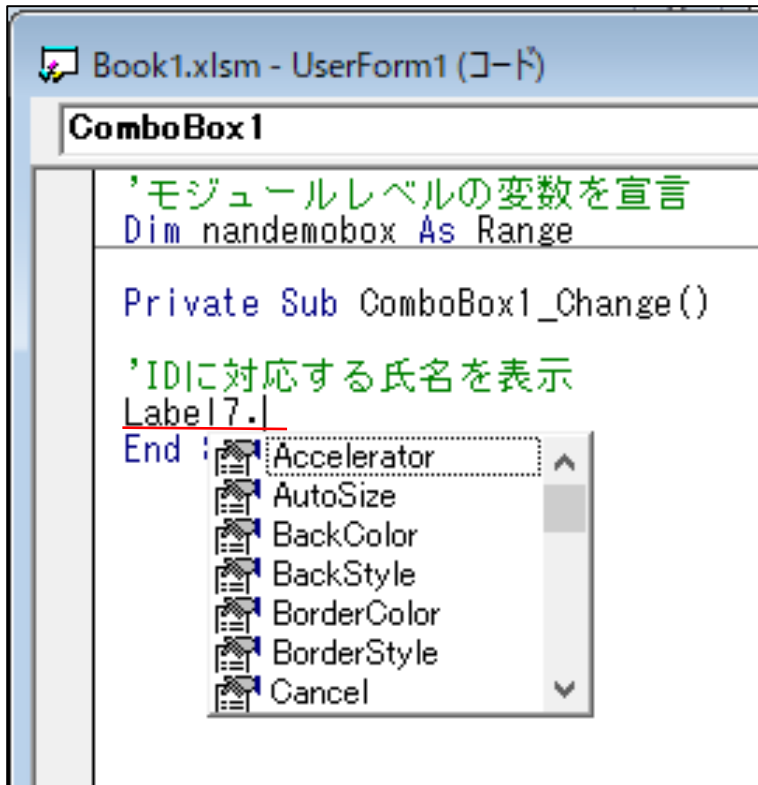
```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
ComboBox1
'モジュールレベルの変数を宣言
Dim nandemobox As Range

Private Sub ComboBox1_Change()
|
End Sub
```

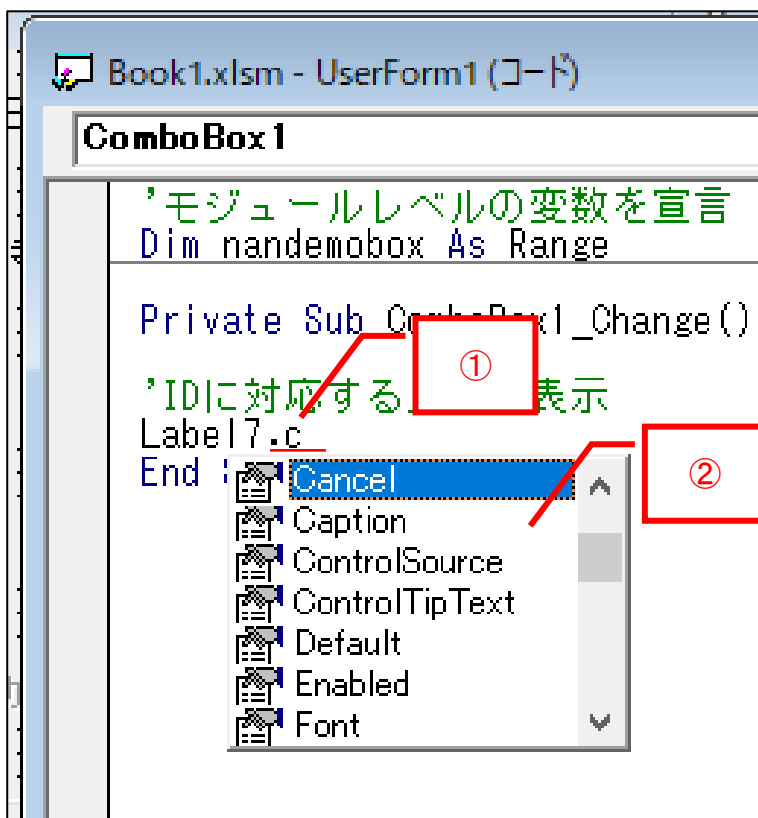
' ID に対応する氏名を表示 と入力して Enter キーを押します。

```
Book1.xlsm - UserForm1 (コード)
ComboBox1
'モジュールレベルの変数を宣言
Dim nandemobox As Range

Private Sub ComboBox1_Change()
'IDに対応する氏名を表示
|
End Sub
```



Label7. と入力すると、左図のようになります。



① c と入力すると左図のように②リストが表示されます。